医療法人
十字会

健康彩時記

赤　ひ　げ

2014年(平成26年)2月発行
第21号
発行責任者　医療法人十字会
理事長　野島 丈夫

理念

1．患者さまの立場に立って、心のこもった思いやりのある、温かい医療を提供できる病院を目指します。
2．十分な説明と同意に基づいた、安全で良質かつ高度な医療を提供できる病院を目指します。
3．責任と誇りを持ち、地域の皆さまに信頼される病院を目指します。

―平成26年度を地域に根ざす十字会の飛躍の年に―

理事長・総院長　野島　丈夫

平成26年が明け、本年度の事業である電子カルテ導入が目前となりました。今回は病院部門のみの導入ですが、ネットワークにより老健部もつながり、さらに連携が深まることを望んでいます。

多忙な業務の中、重なる会議を経て数多くの決定事項がほぼ完成し、今年度中に機器が揃います。医療・看護の効率性、安全性、確実性、そして各業務の効率化を図り、良い医療を提供していくことが電子カルテ導入の大きな目的です。７月実稼働に向けて、また稼働後も混乱なく進むよう全員で任務を遂行していきたいと思います。

４月に実施される診療報酬改定は、2025年問題が更に意識された改定となったため、病院及び老健部門・在宅部門の連携が一層重要となります。

老健では、県Ｒ４研修会での発表に高い評価がなされ、一人ひとりがＲ４システムを自分自身のものとして取組んでいく意識が強まりました。デイケアセンターでは、利用者の方々の評価が高く、中部一・県一のデイケアを目指しています。

９月の日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会当番病院としての準備が始まっており、各部署ならびに各委員会による多く演題発表を期待しています。10月の山陰救急医学会は救急病院として歴史と実績ある野島病院が主催をし、県知事表彰を受けた山本院長が会長となり計画中です。

取組むべき課題の多い平成26年、「地域に根ざす十字会」を心に、全職員が力を合わせて進んでいくことを願っています。

―年頭の挨拶―

院長　山本　敏雄

明けましておめでとうございます。
今年の4月で院長就任5年目になりますが、まだまだ納得できるような仕事はできていないと思っています。この5年間を振り返ってみますと、オーダリングシステムの稼働、病院機能評価Ver．６受審・合格320列ＣＴの設置など病院のレベルアップがなされてきました。今年は電子カルテの導入が計画されており、また日本医療マネージメント学会鳥取支部会の主催、山陰救急医学会の主催などもあり内外ともに忙しくなりそうです。この中で特に電子カルテは今年一番の大仕事です。すでにオーダリングシステムが稼働しており、その操作等に皆さんがかなり慣れてきたことと思います。今後は電子カルテ稼働に向かって各部署で建設的な意見を出し、ワーキンググループの皆さんにはこれらをまとめていただいて７月に本稼働できるようにお願いしたいと思います。

今後、日本は急速に高齢化社会からさらに超高齢化社会に向かってゆきますが、これが医療を含めた社会保障制度にどのような影響を及ぼすのか不透明な部分もあります。いずれにせよ医療費が増大するのは明らかであり、国の社会保障政策に注目する必要があります。このように病院内外には多くの問題が山積していますが、野島病院が職員一体となり、また連携を密にして病院全体で地域医療に貢献できることを望んでいます。

さて私事ですが、昨年鳥取県救急医療功労者として医師会の推薦を受け、県庁で平井知事より表彰を受けました。これは野島病院はもとより中部地区の救急医療従事者の皆さんを代表していただいたものと思っています。今後も皆様と一緒に中部地区の救急医療の一端を担って励みたいと思いますので、野島病院職員の皆様も協力お願いいたします。

財団法人 日本医療機能評価機構認定病院　認定第JC413－2号　審査体制区分3(ver.6.0)

医療法人十字会

野島病院	TEL:(0858)22-6231	FAX:(0858)22-6843	指定居宅介護支援事業所のじま	TEL:(0858)22-7121	FAX:(0858)23-7122
介護老人保健施設のじま	TEL:(0858)23-7100	FAX:(0858)23-7101	明倫・小鴨地域包括支援センター	TEL:(0858)23-7106	FAX:(0858)23-7122
デイケアセンターのじま	TEL:(0858)23-8005	FAX:(0858)23-8006	倉吉市障害者地域生活支援センター はっぴい	TEL:(0858)22-6239	FAX:(0858)23-7122
訪問看護ステーションのじま	TEL:(0858)23-7104	FAX:(0858)23-7122			
訪問介護ステーションのじま	TEL:(0858)23-7107	FAX:(0858)23-7122	すくすく園（病後児保育）	TEL:(0858)22-6231	

クローズアップ

脳血管内治療

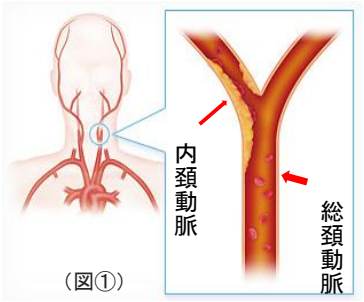
食生活の欧米化により脳卒中、心筋梗塞、糖尿病等の生活習慣病が増加している。脳神経系の病変にスポットをあててみると、**頚動脈狭窄症**がエコー検査、脳ドックのMRA検査等で頻回に発見されており、治療により脳梗塞発症の予防することが出来る。今回、脳神経外科の竹内医師に当院での治療を紹介いただいた。

頚動脈狭窄症に対する治療

脳神経外科専門医　脳血管内治療専門医　竹内啓九

頚動脈狭窄症は初発、再発を問わず虚血性脳障害、所謂一過性脳虚血発作や脳梗塞の原因となり得る疾患です。

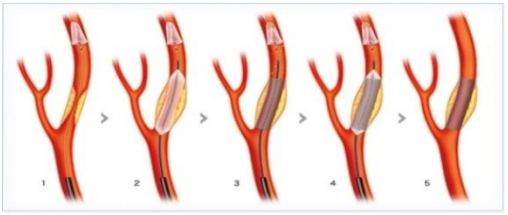
虚血性脳障害は先進国において永続的な障害をきたす原因の第１位であり、欧米では虚血性脳障害の約20%が頚動脈狭窄に由来するとされています。

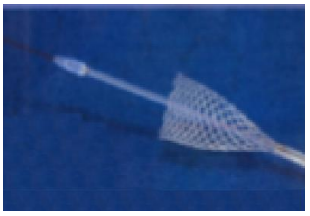


（図①）

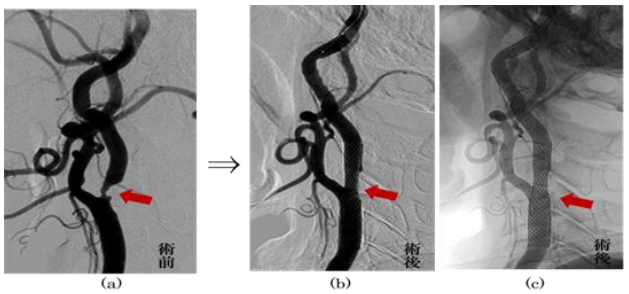
頚部の動脈は図①の様に総頚動脈から内頚動脈が分かれます。多くの狭窄は内頚動脈の起始部に生じます。内頚動脈の起始部の狭窄に対する治療には投薬による内科的治療と外科的治療があり、外科的治療には脳血管内治療（切らない治療）と直達手術（切る治療）があります。

脳血管内治療は経皮的血管形成術（percutaneous transluminal angioplasty;PTA）とそれに引き続いて行う頚動脈ステント留置術（carotid artery stenting;CAS)で、直達手術は頚動脈内膜剥離術（caroitd endoar terectomy;CEA）です。全身麻酔下に頚動脈直上の皮膚を切開し、内頚動脈を切開して狭窄の原因となっているアテロームを除去するのがCEAです。


（図②）


（図③）

図②のイラストの様に、鼠径部や腕などの皮膚に近い動脈周囲に局所麻酔を行い、動脈に管を入れそこから動脈内を通って折り畳まれたバルーンを病変部である狭窄部へ誘導し、狭窄部の拡張を行うものがPTAで、CASはさらに、折り畳まれたステントと呼ばれるメッシュ状の金属のチューブ（図③）を病変部へ誘導し、留置するものです。



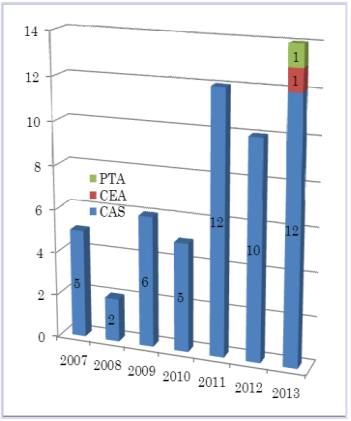
（図④）

図④は透視下での頚部頚動脈の像です。赤い矢印が内頚動脈起始部の狭窄しているところです。実際はこの画像をモニターで見ながら治療を行います。図④の(a)では狭い箇所が、(b)のCASの術後拡張しています。(c)でうっすら網のように見えるのがステントです。

従来、CEA施行が難しい症例を主な対象としてCASが施行されてきましたが、2010年にCEAとCASの比較検討した試験でCASの安全性と有効性が証明されたこともあり、CASの適応は拡大し治療件数は増加しました。本邦では頚動脈に使用できるステントが2008年に保険収載され、現在、症候性、無症候性を問わず、CASはCEAを上回る治療件数が報告されています。

当院でも、頚動脈狭窄症に対する外科的治療として、右グラフの通り特にCAS症例が年々増えています。

当院での治療成績は、結果的に全快したものの、一時的に麻痺が生じる合併症が1例（1.9%）ありました。それ以外は問題なく、治療が行われています。頚動脈狭窄症はエコー等や脳ドックのMRA検査等で指摘されることが多くなっています。近年、食生活の欧米化に伴い糖尿病、高血圧、高コレステロール血症等のリスクの因子の増加と共に、頚動脈狭窄の有病者が増えつつあります。前述の通り、治療は脳梗塞発症の予防になりますので、頚動脈の狭窄が疑われた時はご相談ください。



第11回研究研修発表会

日時：2013年10月5日（土）9時～12時15分
場所：倉吉未来中心　小ホール

医療マネジメント学会当番病院を次年度に控え、昨年10月研究研修発表会が開催されました。治療内容をはじめ、今後の方向性のヒントに富んだ専門性の高い内容、また防災意識への働きかけなどが発表され、活発な質疑応答がなされました。

◇頚動脈狭窄症に対する治療　　医局　竹内　啓九

◇2012年のC.difficile 感染症の状況
感染対策委員会　宮崎　聡

◇医療事故への対応　－過去の事例から学ぶ－
安全対策委員会リスクマネージャー　松本　立子

◇看護部BLS研修会にデブリーフィング法を取り入れて
看護部救急認定看護師　阿久津　翠

◇看護部外来での電話対応について考える
～電話回数、内容に関するアンケートを行って～
外来看護師　高塚　典子

◇薬剤鑑別の現状と今後の展開　　薬剤師　藤村 章仁

◇集団活動における効果
リハビリテーション科　竹谷　豊

◇防災力向上に向けて　～プロローグ～
総務課用度施設管理係　野儀　恵一

◇介護予防リハビリテーションにおける
利用目的に対するアプローチ
老人保健施設のじま　鷲根　貴志

◇ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者の在宅復帰に向けて
～介護職員等による痰吸引等の制度を活用して～
居宅介護支援事業所　山本　美智子

25年度事業　電子カルテ導入 進行中　今年7月 本稼働予定

診療の効率化、確実性、安全性を目指した電子カルテの導入への取組は、多忙な業務のなかワーキンググループによる毎週２回のミーティングによりマスター作成などがほぼ完了に向かい、３月には操作研修の開始となります。７月の本稼働に向けて５月にはリハーサルが行われます。電子カルテ導入により院内のパソコン台数も２倍以上になります。

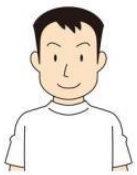
電子カルテによりスタッフ一人ひとりの業務の効率化がなされ、診療の効率化、確実性・安全性が高まり、医療の質の向上へとつながります。患者さまにも、より良い医療・看護がお届けできるよう、また待ち時間の短縮となるよう目指しています（詳細は次号掲載）。

ちょっと一息

腰痛よ「さようなら」！

慢性的な腰痛の方は、背骨の動きが固く、背中や腰の筋肉も固くなります。そこで、今回は背中や腰のストレッチ方法をお伝えします。
仕事の合間やお風呂上がりのリラックスタイムにやってみて下さい！

Ⅰ　わき腹と背中のストレッチ
椅子と足を押さえて、体をひねります。



☆ストレッチのポイント
・痛みが出たら中止する！
・息を止めない！
・反動をつけない！

Ⅱ　お尻の ストレッチ
膝を抱えて胸に引きつけるようにします。

Ⅲ　太もも後側のストレッチ
つま先に向かって体を曲げていきます。

さあ！これであなたも腰痛と
「さようなら」しましょう♪

十字会　新年会

1月10日、法人新年会が開催されました。新年を迎え決意をあらたにしました。

もちつき

老健のじま

12月25日、毎年恒例の餅つきを行いました。「よいしょー！」と掛け声を合わせてついたお餅に皆様満足されていました。

外来診療担当表

◆診療時間◆午前9時から正午まで　（平成26年2月1日現在）

診療科		月	火	水	木	金	土	日
脳神経外科		野島（総院長）	宍戸	小椋	宍戸	野島（総院長）	休診	
		竹内	---	---	竹内	---		
外科・肛門科		山本（院長）	牧野	牧野	山本（院長）	宇奈手		
乳腺・内分泌外科		---	林	林	---	---		
整形外科		中島匡	岸本	岸本	萩野	中島匡		
						名島（第3週）		
消化器科初診当番		山本（院長）	三村	牧野	佐々木	宇奈手		
内科	一診	宮崎	石村唯	宮崎	石村唯	宮崎		
	二診	佐々木	三村	石村昌	佐々木	三村		
	三診	石村昌	池田（隔週） 宮本（隔週）	山本玲	池田	渡部		
	特診	---	---	---	松田	---		
神経内科		下田	安井	三宅	下田	三宅		
精神科・心療内科		熊谷	熊谷	熊谷	熊谷	熊谷		
泌尿器科		武中	井上	井上	井上	井上		
眼科		寺坂	松浦 寺坂	松浦 寺坂	松浦	松浦 寺坂		
耳鼻咽喉科		鳥大医師	---	鳥大医師	---	鳥大医師		
形成外科		中山	---	陶山	鳥大医師	---		
人間ドック		細田	細田	細田	細田	神波		
脳ドック		小椋	下田	宍戸	三宅	竹内		

◆診療時間◆午後2時から午後5時まで

診療科	月	火	水	木	金	土	日
総合外来	佐々木 三宅	石村昌 下田 宮崎	野島（総院長）	鳥大医師（外科）	神波 林	休診	
眼科	寺坂	松浦 寺坂	鳥大医師（予約のみ）	松浦（手術日）	松浦 寺坂		
内科	---	井川（隔週）	---	---	---		
脊椎外来	赤塚（第2週）	---	---	---	---		
泌尿器科	---	---	井上	---	---		

（注）眼科の午後の診察は、紹介の方と予約の方を中心と致します
（注）泌尿器科の午後の診察は、2時から4時までと致します
（注）金曜日の総合外来は、林医師が手術の場合は、神波医師の診察と致します

◆受付時間◆
午前8時30分から午後4時まで

◆休診日◆
土曜日、日曜日、祝日
お盆（8月14，15日）
年末年始（12月31日，1月1，2，3日）

編集後記

朝起きて外が真っ白くおおわれていると、子どものときであれば素直に喜べたのに、大人になると通勤のことを考えてただただ面倒に思ってしまう自分に気づきます。四季の移り変わりに合わせていろいろな感情を大事にしたいと思う一方で、天候によって来院が困難になる患者様のことを思い浮かべると、やはり雪が降らないに越したことはありません。童謡のように楽しげに「雪やこんこ（降れ降れ）霰やこんこ」とはなかなか思えないものです。　神田

発行所：
〒682-0863
鳥取県倉吉市瀬崎町2714-1
ホームページURL:
http://nojima-hospital.jp
代表E-mail:
info@nojima-hospital.or.jp
地域医療連携室専用E-mail:
RMLO@nojima-hospital.or.jp

クリスマス会

のびっこ園

12月20日、のびっこ園にてｸﾘｽﾏｽ会をしました。みんなが楽しみにしていたサンタさんとトナカイさんが登場し大興奮！！プレゼントをもらって大喜びでした。

また来年も来てくれると約束してくれました（＃^.^＃）

老健のじま

12月11日、少し早いクリスマス会を行いました。ハンドベルの演奏やプレゼントに皆様喜んでおられました。

互助会旅行

11月23日　日帰り旅行で小豆島に行って来ました。